

平成28年8月2日

「サンルダム定礎式」を開催します

～地域の皆様とともにダムの永久堅固と安泰を祈願します～

旭川開発建設部では、サンルダム堤体工事の本格的な施工を迎え、ダムの礎としてダム堤体に礎石を埋納し、地域の皆様とともにダムの永久堅固と安泰を祈願する「定礎式」を開催します。

記

日時 平成28年8月7日（日）11時00分～12時30分

場所 天塩川サンルダム堤体建設工事敷地内（上川郡下川町北町地先）

概要 別紙1-1～3のとおり

その他 工事敷地内は事前に案内した車両以外の上場を制限しております。

当日の取材に当たっては、事前に別紙2により広報官まで申込みをお願いします。

当日は次の行事も開催されますので、お知らせします。

・修祓式 時間 10時00分～10時40分

主催 大成・熊谷・岩倉特定建設工事共同企業体

場所 天塩川サンルダム堤体建設工事敷地内（定礎式会場と同じ）

・祝賀会 時間 13時00分～14時30分

主催 天塩川治水促進期成会・下川町

場所 下川町バスターミナル合同センター 2階 大ホール

（上川郡下川町共栄町6番地）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

（式典に関する問合せ先）

サンルダム建設事業所 所長 若林 英樹（01655-4-3634）

副長 加納 浩生（01655-4-3634）

（当日の取材に関する問合せ先）

広報官 小林 智也（0166-32-3097）

定 礎 式 概 要

1. 日 時 平成28年8月7日（日） 11時00分～12時30分
2. 場 所 上川郡下川町北町地先 天塩川サンルダム堤体建設工事敷地内
3. 主 催 北海道開発局旭川開発建設部
4. 主な出席予定者
国会議員、北海道知事（代理出席予定）、北海道議会議員、天塩川流域市町村長、天塩川流域市町村議会議長、地元関係者などの約220名
5. 式次第
 - (1) 開式
 - (2) 式辞
 - (3) 挨拶
 - (4) 工事報告
 - (5) 祝辞
 - (6) 来賓紹介
 - (7) 祝電披露
 - (8) 定礎の儀
 - ①礎石搬入
 - ②定礎宣言
 - ③鎮定（ちんてい）の儀
 - ④斎饗（いみごて）の儀
 - ⑤斎槌（いみつち）の儀
 - ⑥埋納（まいのう）の儀
 - ⑦記念石埋納（下川小学校の子供たちによる記念石埋納）
 - (9) 万歳三唱
 - (10) くす玉開披
 - (11) 閉式

【定礎の儀について】

定礎に係る一連の作業を通じて、工事の安全と堅固なダム建設を祈願します。

鎮定（ちんてい）の儀 礎石を固めるため、モルタルなどの材料を礎石のまわりに入れるものです。これからの工事に道筋をつける意味があります。

齋餼（いみごて）の儀 ^{ちんてい}鎮定の儀により礎石の周りに入れられたモルタルなどの材料を^{こて}餼でならずものです。^{ちんてい}鎮定の儀でつけられた道筋をならず意味があります。

齋槌（いみづち）の儀 ^{つち}槌で礎石をたたいてしっかりと納めるものです。^{いみごて}齋餼の儀でならされた道筋をさらに強固なものにする意味があります。

埋納（まいのう）の儀 礎石を堤体の一部として埋め込むものです。ダンプトラックで搬入したCSGを礎石の上に投入します。



鎮定（ちんてい）の儀



齋餼（いみごて）の儀



齋槌（いみづち）の儀



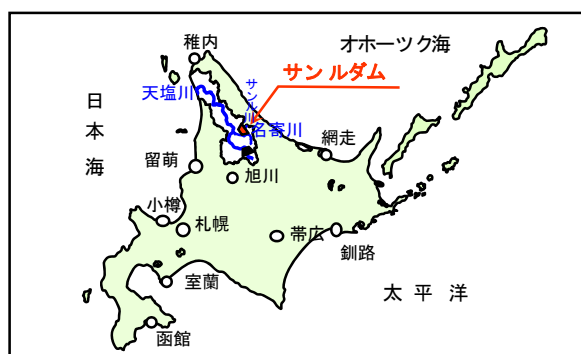
埋納（まいのう）の儀

※写真は夕張シューパロダムの事例です



サンルダム建設事業概要

- 場 所 北海道上川郡下川町（天塩川水系サンル川）
- 目 的
 - ・洪水調節（天塩川、名寄川の洪水防御）
 - ・流水の正常な機能の維持
 - ・水道用水の供給（名寄市、下川町：0.019m³/s）
 - ・発電（ほくでんエコエナジー（株）：最大1,100kW）
- 諸 元 型式 台形CSGダム
 - 堤高 46m
 - 堤頂 350m
 - 総貯水容量 5,720万m³
- 経 緯
 - 昭和63年 実施計画調査着手
 - 平成 5年 建設事業着手
 - 平成10年 用地補償基準妥結、調印
 - 平成11年 道道下川雄武線付替道路工事着手
 - 平成12年 水没家屋（13戸）移転完了
 - 平成26年 ダム本体工事着手



旭川開発建設部 広報官

『サンルダム定礎式』取材申込み

送付先： FAX番号 0166-32-2179

お名前	御所属	御連絡先

※大変申し訳ありませんが、8月5日(金)12時00分までに申込み下さい。

※本申込みに記載されている情報は、旭川開発建設部が取材の相手方を確認する以外には使用しません。